

令和5年度 学校マネジメントシート（最終報告）

【様式】

学校名（ 木本高等学校 全日制 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒を育成します。 ○地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、「地域に信頼される学校」をめざします。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の夢や目標をしっかりと持ち、その実現に向けて努力を続ける生徒。 ○学習や部活動に積極的に取り組み、自分の良さを伸ばそうとしている生徒。 ○地域に誇りや愛着を持ち、地域の地域や世界を舞台に活躍する力を持った生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す学校像実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ○授業を大切にし、生徒の学力向上と進路希望実現に努め、生徒の良さを引きだそうとする教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒：進路実現に向け、学力向上と的確なキャリア教育、進路指導をしてほしい。 ○保護者：毎日楽しく学んで成長し、進路希望を実現させてほしい。 ○進学先：目的意識が明確で、意欲的に学ぶ学生がほしい。 ○就職先：素直で元気が良く、向上心と粘り強さを持った人材がほしい。 ○地域社会：高校生の力を活かして、地域を活性化したい。 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者：子どもを理解し、それを踏まえた教育をしてほしい。安全安心な学校作りを進めてほしい。 ○中学校：卒業生(本校への入学生)や高校の様子、入試に関する情報を知らせてほしい。 ○地域社会：地域行事や住民活動、防災の取組等で、高校生に活躍、協力してほしい。 ○進学先：基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。 ○就職先：社会人として必要なコミュニケーション能力を育成してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者：本校の教育活動に理解、協力をしてほしい。特に、家庭でのしつけと学習環境の確保に努めてほしい。 ○中学校：基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。 ○地域社会：生徒の成長を温かく見守り、本校の教育活動に協力、支援をしてほしい。 ○進学先、就職先：体験活動の実施や情報収集等キャリア教育を中心に、本校の教育活動に協力、支援をしてほしい。
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ○学習面では、ICT活用や学習活動の工夫により、一人ひとりにあったきめ細かい教育活動を行い、希望進路の実現に努めてほしい。また特別活動等において、適切な自己判断や主体的な活動ができる力を身につけるような取り組みを行ってほしい。 ○本校の活性化にも繋がる小中学校や地域住民との連携について、多岐にわたる活動を深め、情報発信にも努めてほしい。 	

(4) 現状と課題	教育活動	○新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業計画や指導力の向上を図り、主体的な学習活動となるよう教員間で生徒状況を把握・共有し、それぞれの進路実現に取り組む。学校行事等の様々な場面で、達成感や自己肯定感が高まるような活動に取り組む。
	学校運営等	○授業力や進路指導力、生徒指導に繋がる信頼向上の意識を高め、教職員の資質の向上に取り組む。そのために教員間での情報共有や連携を深め、働きやすい職場づくりに取り組む。中学生や地域の方々に、活動内容や実績、連携を含めた情報の発信に取り組む。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人ひとりの意欲を高め、学力を伸ばす。 2 生徒一人ひとりに向き合い、規範意識を高める。 3 生徒一人ひとりに応じて、細やかな進路保障に努める。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 1 全教職員が連携して授業改善とキャリア教育を進め、生徒の学力向上と進路希望実現に努める。 2 教職員が意欲的に充実感を持って仕事に取り組めるよう、連携・協力の態勢を強化し、業務内容の見直しと効率化をすすめ、総勤務時間を縮減する。 3 地域等のニーズ把握と連携、PRに努め、教育活動を改善し、地域からの信頼を深める。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>一人ひとりを大切にしたい 安心安全の学校づくり</p>	<p>○生徒一人ひとりの状況を把握し、教員間で共有する。</p> <p>【活動指標】学級担任による個人面談等を実施する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p> <p>【活動指標】生徒個々の状況を学校全体で共有する会議を開催する。</p> <p>【成果指標】年間、定期的に5回以上、臨時に必要回数。</p> <p>○生徒の「命を大切にしたい心」を育む。</p> <p>【活動指標】命について、生徒が考える機会を多く設ける。</p> <p>【成果指標】講話、講演会等を年間3回以上実施。</p> <p>○いじめを許さない学校風土を定着させる。</p> <p>【活動指標】いじめについての生徒アンケートを実施し、その結果を分析・確認、教員全体で共有する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p> <p>○学校全体で人権意識を高める。</p> <p>【活動指標】人権 LHR を実施する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p>	<p>《1・2学年》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月と7月(三者懇談)を実施した。 ・その他個別に必要な生徒にはその都度面談を実施した。 <p>《3学年》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員に対して1学期に2回、2学期に1回実施し、その他個別に必要な生徒にはその都度実施した。 ・各関係委員会において、個々の生徒の状況を共有し、臨時的に全体への情報共有を行った。 ・応急処置の知識と技術の向上のために6月28日(水)午後に職員対象の救急法講習会を実施した。 ・保健講話(思春期講話) <p>《1学年》11月16日 歯科保健・性感染症予防・デートDV</p> <p>《2学年》11月15日 ライフプランと赤ちゃん人形抱っこ体験</p> <p>《3学年》11月15日 歯科保健・いのちの授業</p> <p>《全学年》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとにいじめアンケートを実施した。 <p>【人権 LHR】</p> <p>《1学期》</p> <p>1学年「携帯電話やスマートフォンの正しい使い方やマナー・SNSトラブルから身を守る」 2学年「共生社</p>	

	<p>○防災に対する意識を高め、災害時の対応力を高める。</p> <p>【活動指標】防災訓練、防災に関する講話等を実施する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p>	<p>会」3学年「それって聞かれて大丈夫？」統一応募用紙が生まれた経緯と就職に関わる差別について</p> <p>《2学期…拡大人権教育として全学年公開授業》</p> <p>1学年「災害と人権」2学年「部落差別について理解を深める」3学年「労働者の人権と結婚差別について」</p> <p>《3学期》</p> <p>1・2学年 講演：人権意識を高め、当事者意識を育てるために。</p> <p>《全学年》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月4日(金)牟呂地区・地区別人権学習交流会(人権委員)。 ・12月14日(木)人権フェスティバル ①人権委員による人権学習の発表。②講演(人権落語・切磋亭琢磨)「笑って考えよう 身近な人権」 <p>【防災】</p> <p>4月に地震・津波避難訓練を実施。12月に火災避難訓練を実施した。</p> <p>《1学年》</p> <p>防災プロジェクト。通学路の危険箇所と避難場所の確認と共有。</p>	
<p>学習指導</p>	<p>○生徒一人ひとりの意欲を高め、生徒の学力を伸ばす。</p> <p>(1)授業を大切にする姿勢を学校全体で示す。</p> <p>【活動指標】チャイムと同時に授業を開始する。 教員はチャイム前に教室に到着する。</p> <p>【成果指標】チャイムと同時の授業開始が生徒調査で100%。</p>	<p>・7月に学習アンケートを実施。生徒の授業充実度は70.3%、授業満足度は74.2%、チャイムと同時に授業開始は92.8%であった。</p> <p>12月に2回目の学習アンケートを実施。生徒の授業充実度は71.2%、授業満足度は67.1%、チャイムと同時に授業開始は94.6%であった。</p>	<p>◎</p>

	<p>(2)進路希望実現に向けて、3年生対象の補習授業を積極的に展開する。</p> <p>【活動指標】授業日、長期休業中に補習授業を行う。</p> <p>【成果指標】授業日と長期休業中に5教科の補習授業を行う。</p> <p>(3)自主的学習の意欲を高め、個々の状況に合った個別学習を支援する。</p> <p>【活動指標】生徒が自分に適した学習について考える機会を多くつくとともに、それに沿った学習を定着させる。</p> <p>【成果指標】Webを利用した個別学習の1人あたり平均受講講座数各学期5回（年間15回）。</p> <p>(4)「新学習指導要領」「大学入学共通テスト」に対応した学習指導の改善を進める。</p> <p>【成果指標】学校全体での共通した取組2件以上。</p>	<p>・3年生を対象に、共通テストを受ける生徒に対して、模擬試験の過去問を各自が時間を計って月から金まで(15:45～18:00)学習する場を設けた。</p> <p>・2学年対象で学習合宿を実施した(7月)。</p> <p>・夏休み進学補習で、津高校が開催するオンラインによる補習に参加した。</p> <p>・学年としての取組のとみなった。</p>	
生徒指導	<p>○生徒一人ひとりと向き合い、生徒の規範意識を高める。</p> <p>(1)ルールと挨拶を大切にす姿勢を学校全体で示す。</p> <p>【活動指標】登校指導を原則全授業日に学校全体で分担して行い、服装頭髪の確認と挨拶をする。</p> <p>【成果指標】規定とおりの頭髪服装で登校し、挨拶をする生徒が90%超。</p> <p>(2)全教員が一致協力して指導の徹底を図る。</p> <p>【活動指標】イエローカードの活用等で頭髪服装、携帯電話等の指導を徹底する。</p> <p>【成果指標】規範意識が高まったと実感する生徒が95%超。</p>	<p>・生徒指導部、教員の登校指導に加え、風紀委員による挨拶運動を実施した。</p> <p>・昨年度に比べ、イエローカードの件数は減少した。</p>	
進路指導	<p>○生徒一人ひとりに応じて、きめ細やかな進路保障に努める。</p> <p>(1)生徒の進路意識を高め、早期の進路目標設定とその実現に向けた指導を強化し、卒業時の進学先に対する満足度を高める。</p> <p>【成果指標】進学決定者の進学先に対する満</p>	<p>・校内ガイダンスを充実させ、生徒の進路意識の高揚を図った。(各学年1回は実施)日頃から生徒の進路相談を続けている。</p>	

	<p>足度90%以上。就職：卒業時の内定100%。</p> <p>(2)生徒一人ひとりの状況を把握し、教員間で共有する。</p> <p>【活動指標】1・2年生対象の学力・学習力に係わる研修会を開催する。また、3年生対象の個別検討会を開催する。</p> <p>【成果指標】年間2回以上。</p>	<p>・就職希望者の内定は100%を達成</p> <p>・進学決定者を含めて1月末時点での満足度は100%であった。</p> <p>・1・2年生対象研修会は1回実施。また3年生対象の検討会を2回(7月、12月)実施した。</p>	
--	--	--	--

改善課題

- 一人ひとりを大切にしたい安心安全の学校づくりについては、面談やアンケートを中心に生徒の声を聞くことができ、生徒一人ひとりに丁寧に対応ができた。また教員間での情報や指導内容については、昨年以上に共有ができたが、さらにきめ細かい継続した指導の必要性がある。
- 学習指導については、新学習指導要領への対応や授業体制に生徒は概ね満足している。さらに日頃の授業における校内外でのICT活用や校外との交流活動等の面からも、進路実現の向けての自己判断や自主的な活動につながる取り組みが必要となってくる。

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
教職員の資質向上	<p>○教職員の指導力、課題への意識を高める。</p> <p>(1)他者からの視点を活かして、授業力を高める。</p> <p>【活動指標】授業を公開し、参観者の感想を全教職員で共有する。</p> <p>【成果指標】授業公開期間を年2回設定。</p> <p>【活動指標】生徒対象の学習アンケートを年度前半と後半に実施する。</p> <p>【成果指標】授業満足度が前半より後半が5%以上向上</p> <p>(2)進路指導力を高める。</p> <p>【活動指標】進学指導の校内研修、勉強会を開催する。</p> <p>【成果指標】年2回以上。</p>	<p>・授業公開を6月・11月に実施した。</p> <p>・学習アンケートより、指標の達成はできなかった。</p> <p>・各教科の研究協議会、指導者講習会、公開授業への参加。</p>	

	<p>(3)「命を大切にすることを育む教育」の指導力と意識を高める。</p> <p>【活動指標】“命を大切にすることを育む教育”の校内研修を開催する。</p> <p>【成果指標】年1回以上。</p> <p>(4)法令遵守、信頼向上の意識を高める。</p> <p>【活動指標】生徒への体罰・セクハラに関するアンケートを実施するとともに、法令遵守の校内研修を開催する。</p> <p>【成果指標】アンケート、校内研修ともに、年3回以上。</p> <p>【活動指標】校外の事例を全教職員で共有する。</p> <p>【成果指標】年10件以上。</p>	<p>・人権教育講演研修会、救命救急セミナーを実施した。</p> <p>・コンプライアンス研修(8月・10月・2月)を実施した。</p> <p>・職員会議・研修・打合せ等で情報共有を行った。</p>	
<p>関係学校・地域等との連携強化</p>	<p>○地域のニーズ把握と信頼関係深化に努める。</p> <p>【活動指標】本校教職員が地元小中学校・県立学校の教職員と情報交換・交流する機会を積極的に設ける。</p> <p>【活動指標】保護者・地域住民・小中学生及び地元小中学校・県立学校の教職員に本校生徒の様子を直接見ってもらう機会を多く設ける。</p> <p>【成果指標】生徒の活動の様子の公開3回以上。</p>	<p>・生徒による英語と保健体育の出前授業を地元小学校で実施した。</p> <p>・紀南地域県立学校拡大人権教育推進協議会・取組公開を実施した。</p> <p>・体育祭・文化祭・人権フェスティバルを一般公開として実施した。</p>	

<p>働きやすい 職場づくり</p>	<p>○総勤務時間を縮減する。</p> <p>(1) 総勤務時間縮減の意識を高める。</p> <p>【活動指標】定時退校日を月に1日設定する。</p> <p>【成果指標】定時退校日に定時退校した職員の割合80%以上。</p> <p>【活動指標】会議を効率化し時間を短縮する。</p> <p>【成果指標】60分以内に終了する放課後の会議の割合80%</p> <p>(2)超過勤務を縮減する。</p> <p>【活動指標】業務を精選・効率化・分散化する。</p> <p>【成果指標】時間外労働時間月間45hおよび年間360hを超える職員0人。また、職員一人あたりの平均時間外労働時間を月30h以下とする。</p> <p>(3)休暇取得を増やす。</p> <p>【活動指標】夏季休暇を完全取得する。</p> <p>【成果指標】夏季休暇以外の特休及び年休取得(4～1月)の合計日数の平均16日以上。</p> <p>(4)他の教育活動とバランスのとれた計画的な部活動を行う。</p> <p>【活動指標】各部毎に、休養日を週に1日以上(できれば平日1日、週休日1日など2日以上)設定する。</p> <p>【成果指標】休養日を月4日以上実施した部の割合100%。</p> <p>○教職員間の連携意識を向上する。</p> <p>【活動指標】各会議に(議事とは別に)情報交換、現況報告の時間を確保する。</p> <p>【成果指標】職員会議を除く全会議に確保し、全員が発言。</p>	<p>(4/1～1/31 まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校できた教員数の割合 58.3% ・60分以内に終了する会議の割合 76.4% ・月間45hを超える職員数 86人 (前年同日比6人減) ・平均時間外労働時間 33.9h ・夏季休暇取得 4.6日/人 ・休暇取得 13.5日/人 ・活動休業日を設定した日に休養できた割合 99% ・各教科・学年・分掌の会議内や日頃からも情報共有を行った。 	<p>◎</p>
<p>学校の将来像の具体化</p>	<p>○当地域における新高等学校の具体像について協議し、その決定に資する。</p> <p>【活動指標】県教育委員会や紀南高等学校等とともに「紀南地域新高等学校設置ワーキング会議」を開催し、各専門領域に分かれて準備を進める。</p> <p>【成果指標】本年度内に新高等学校の基本理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキング会議・各専門部委員会を行った。活性化推進協議会で報告した(7月・9月・3月)。 	

	念・教育方針等をまとめ、地域の協議会等で報告・公表する。		
<p>○教職員の資質向上については、研修会への参加や学校間での研究授業に多く参加し、授業力の向上に繋がった。さらに規範意識の向上を図り、信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>○働きやすい職場づくりについては、さらに業務等の効率化と精選、会議を効率化し、時間短縮やバランスのとれた部活動をすすめる、総勤務時間を縮減する。</p> <p>○学校の将来像の具体化については、新高等学校に向けてワーキング会議や各専門部委員会でそれぞれの課題を検討し、情報発信を行ってきた。さらに来年度は具体的な検討が必要となってくる。</p>			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<p>○学習面の向上や進路実現に向けて、一人ひとりの目標を高いところに設定できるように、きめ細かい教育活動を行い、希望進路の実現に努めてほしい。</p> <p>○特別活動等における活動の中で、自己判断や主体的な活動ができる力を身につけるよう今後も取り組みを行ってほしい。</p> <p>○学習面だけでなく、特別活動等でも小中学校や地域住民と連携し、活動を深めてほしい。</p>
---------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	○進路実現に向けて、学習面では授業計画や指導力の向上を図り、主体的な学習活動となるように取り組む。特別活動等で一人ひとりを大切し、達成感や自己肯定感が高まるような活動に取り組む。
学校運営についての改善策	○教職員の資質の向上と働きやすい職場となるように、日頃からの教職間の連携強化に取り組む。地域との活動における学習力を活かし、関係学校・地域連携との信頼関係深化に取り組む。